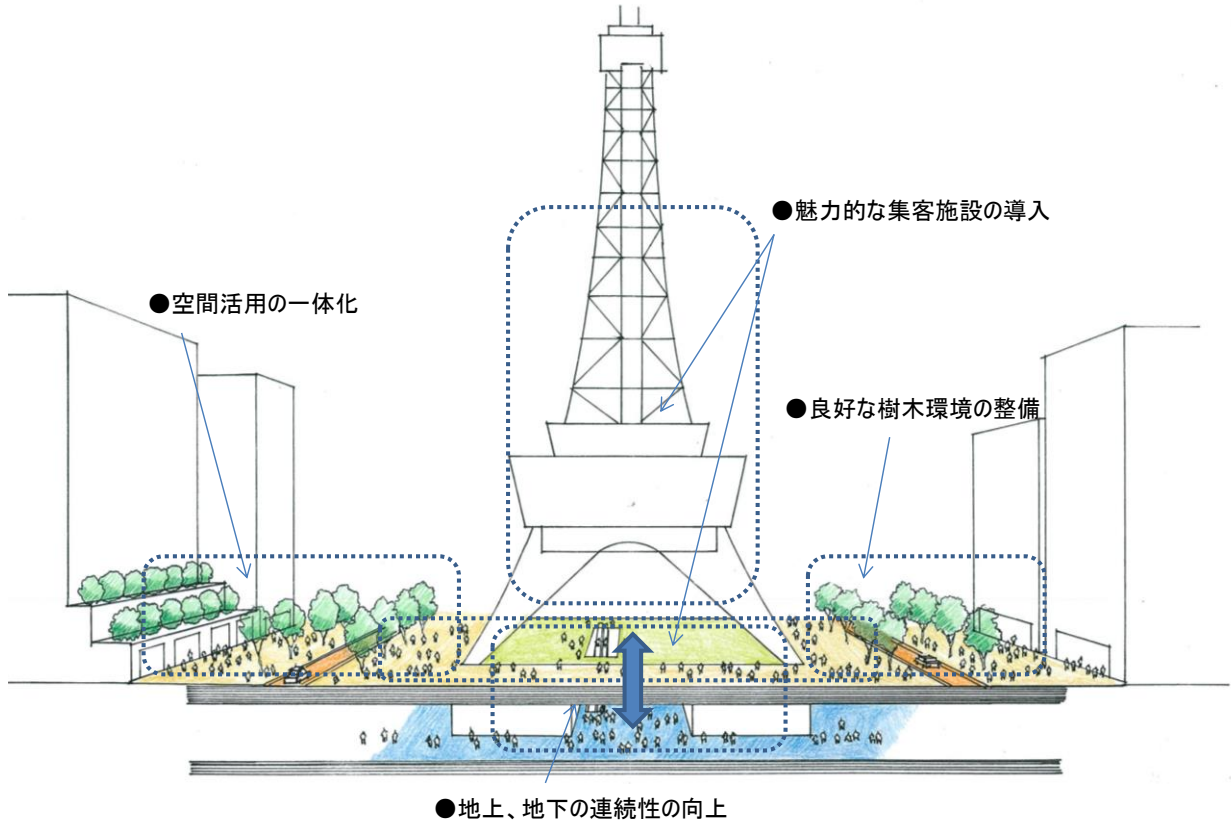


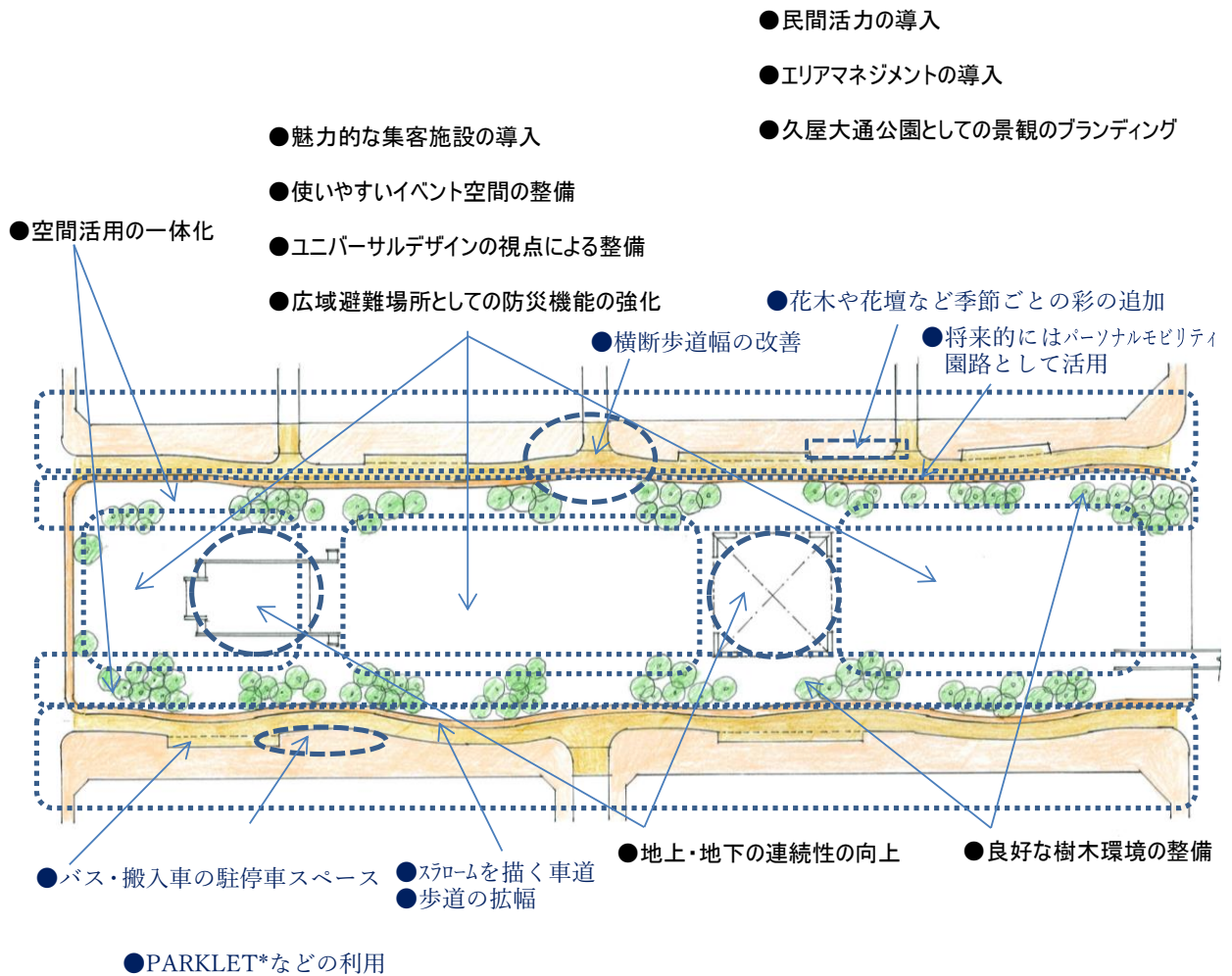
#### 第4章 北エリア・テレビ塔エリアの具体的な展開

北エリア及びテレビ塔エリアにおける空間利用の可能性を、断面的・平面的に捉えた上で、目指すべき方向性に向けた具体的な展開方策を以下に示します。

##### 空間利用の可能性＜断面＞



## 空間利用の可能性＜平面＞



\*PARKLET…路上駐車スペースの一部や、路肩の空きスペースを「箱庭ガーデン」に変えて、街に緑を多くしようという試み。ウッドデッキを敷いてベンチを置いたり、植物を植えたり、駐輪場を設置した憩いの場としています。

#### 4-1 集客と周辺の経済効果を生み出す賑わいの創出

魅力的な集客施設の導入は、このエリアにおける「質」の向上につながるものであるため、北エリアでは、「都会のやすらぎ空間」に相応しい便益施設などを、テレビ塔エリアでは、地上の公園部分だけでなく地下も含めた「観光・交流空間」となるような集客施設を、民間事業者主体で整備・運営していくことが必要です。

また、使いやすいイベント空間や憩いの空間の整備を積極的に果たしていくことや、地上と地下のきちんとした機能循環の確保も重要な要素です。

#### ○魅力的な集客施設の導入

- ・テレビ塔の活用により観光力を強化します
- ・公園や地下空間へ新たな集客機能を導入します

#### 【現状】

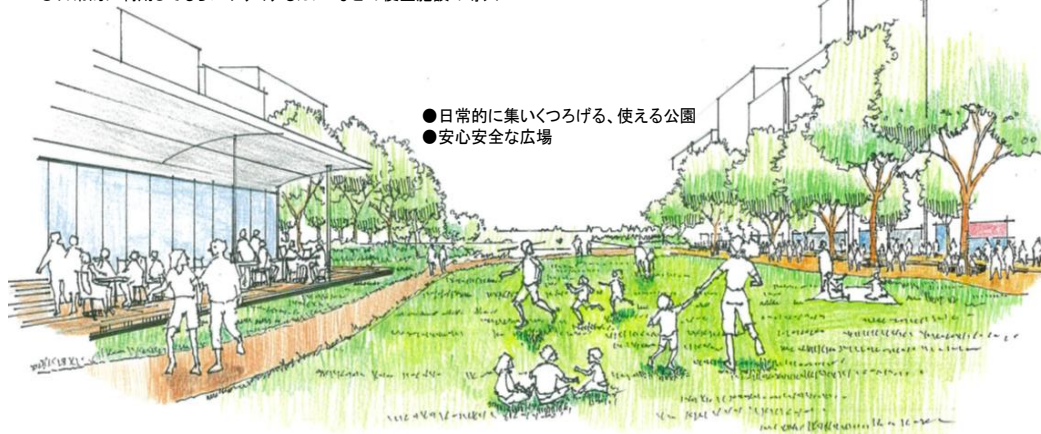


さかえ川



#### 【将来イメージ】

- 日常的に利用してもらいやすくするカフェなどの便益施設の導入



- 日常的に集いつろげる、使える公園
- 安心安全な広場

### ○使いやすいイベント空間の整備

- ・誰もが使いやすく、使いたくなるような公園とします
- ・水景施設、公園の駐車場等を見直し、まとまった広場を確保します

### ○地上、地下の連続性の向上

- ・久屋大通駅やテレビ塔の近傍ともちの木広場にエスカレーターやエレベーターを設置する等、地上と地下の連続性を向上させます

### ○久屋大通公園としての景観のブランディング

- ・地被類の撤去や樹木の配置の見直しによる、見通しのよい明るい樹木景観や、沿道と公園との視覚的な一体感づくりを進めます
- ・楽しく歩ける「ヒューマンタッチ」な素材、色等の景観を演出します
- ・公園内だけでなく沿道のバナー広告なども含めたデザインの統一や、違法駐輪や違法駐車を解消することにより、魅力的な景観を形成します



楽しく歩ける景観のイメージ  
(アートイベント)

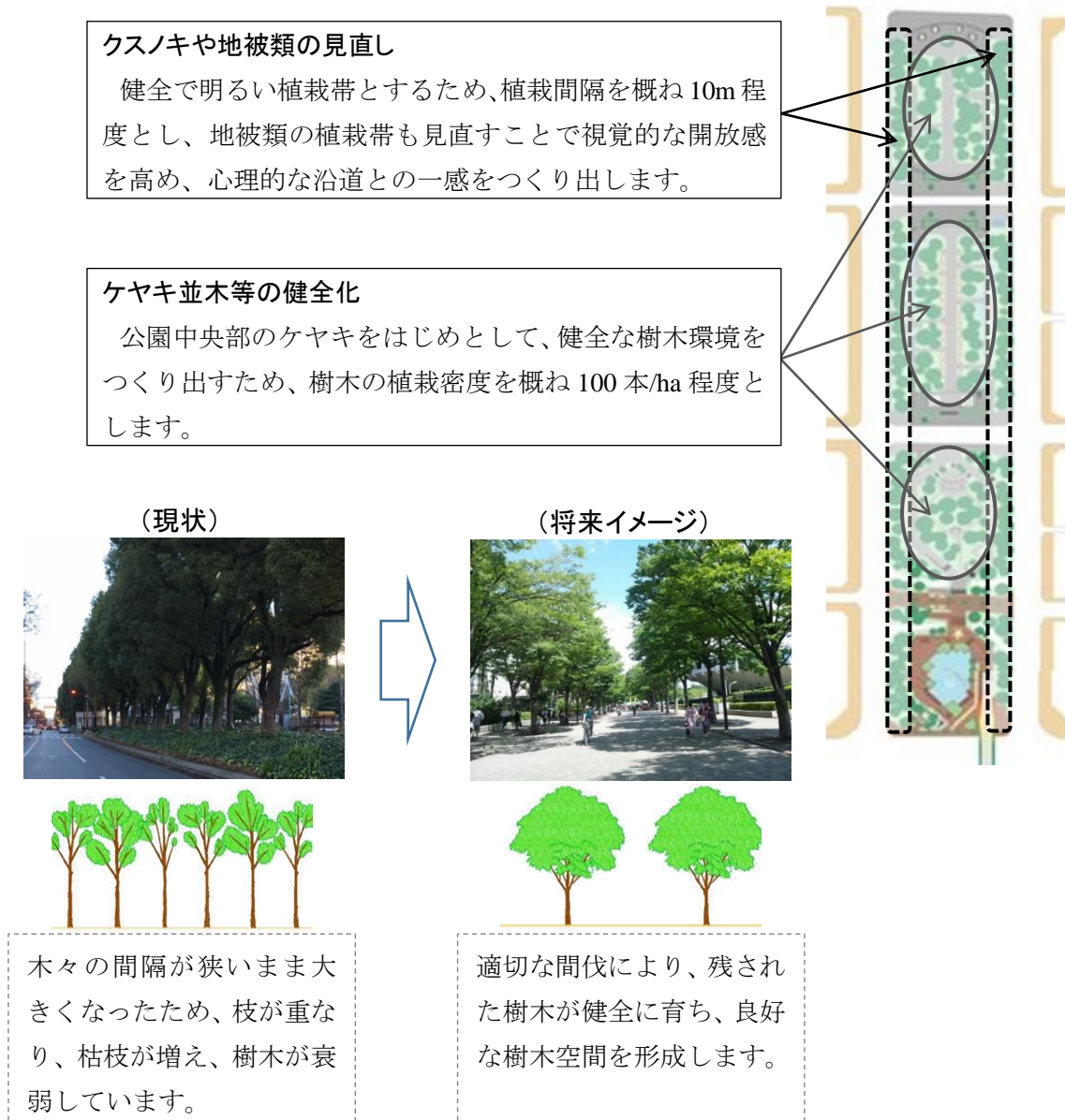
## 4-2 安心・安全なまちづくりの拠点としての防災機能の充実

このエリアの樹木は、都心に残された貴重な緑の空間として多くの市民に愛されており、次の世代に継承していきたいと考えています。しかしながら、現状はうっそうと生い茂り密生した樹木による見通しの悪さや園内の暗さなどが課題となっています。このまま放置すると生育不良や枯死する樹木が生じてしまう可能性が高く、良好な樹木環境を維持していくための対策が必要です。

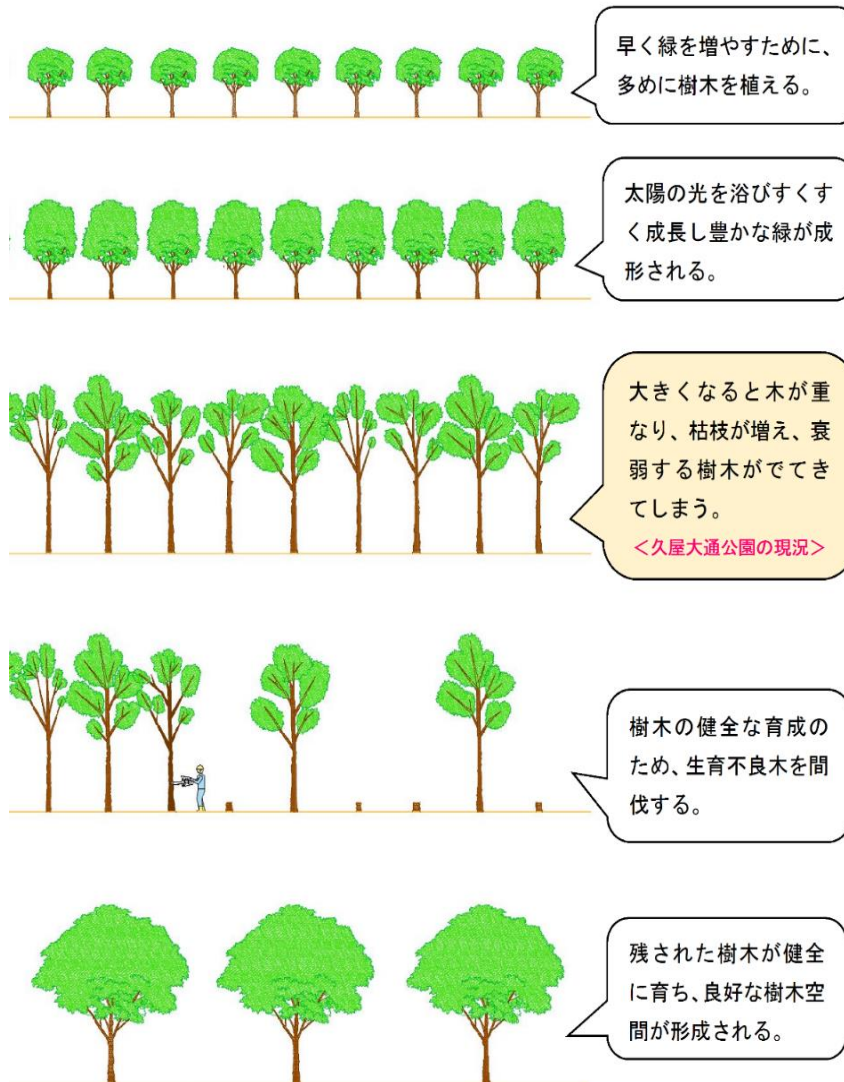
また、ユニバーサルデザインの視点による高低差の解消や、災害時に避難場所として多くの人を受け入れられるような広い空間の確保も重要です。

### ○良好な樹木環境の整備

- ・ 樹木の間伐や更新により、健全で上質な緑の空間を整備
- ・ 植栽帯の地被類や樹木配置の見直しにより、視覚的開放性を確保
- ・ 樹木間隔の適正化（現在の 1/3 程度へ）



- ・間伐などにより、樹木の適正な密度管理が必要  
(樹高と樹間は、1:1 あるいは、1:1.5 程度が望ましい)



樹木の密度管理イメージ

---

## ○ユニバーサルデザインの視点による整備

- ・ 主要な園路の高低差の解消や路面の改良を進めます

## ○広域避難場所としての防災機能の強化

- ・ 災害時により多くの避難者の受け入れを可能とするため、必要なオープンスペースを確保します



防災公園の事例  
(米野公園)